

日程表

■ 第1日目 9/21(土)

	第1会場 (4F・コンベンションホール) 現地・ライブ・オンデマンド	第2会場 (2F・小展示ホール) 現地・ライブ・オンデマンド	第3会場 (3F・特別会議室) 現地・ライブ・オンデマンド	第4会場 (1F・会議室A,B) 現地のみ ※配信はありません
9:00				
	9:45～ 開会挨拶			
10:00	9:55～10:55 大会長講演 中小企業の産業保健と法 ～多様化する健康課題と産業保健の課題をどう解決するかを産業保健法の現場から考える			
11:00				
	11:05～13:05 模擬裁判 発達障害疑いある者の適応障害による休職命令・復職要求 ※オンデマンド配信無	11:05～13:05 シンポジウム3 これからの労働時間法制のあり方と健康確保ー労働のオンとオフの境界線	11:05～13:05 シンポジウム7 疾病・障害の自己理解と配慮義務の職場認識とのギャップを考える	11:05～12:05 昼セミナー パーソナルヒストリー 「昔は今に生きる」 演者: 神田橋條治
12:00				
13:00				
	13:15～14:15 協賛セミナー1 高確法と安衛法の狭間で 協賛: バイオコミュニケーションズ株式会社	13:15～14:15 協賛セミナー2 医師兼弁護士の立場から考える産業医の悩ましい場面での対処法 協賛: 株式会社エムステージ		
14:00				
	14:25～16:25 連携学会シンポジウム1 〈日本産業精神保健学会〉 シャープNECディスプレイソリューションズ事件をめぐって	14:25～16:25 連携学会シンポジウム4 〈全国社会保険労務士会連合会〉 ケースから学ぶ法的根拠に基づいたトラブル対応ー職場のハラスメントによるメンタルヘルス不調ー	14:25～16:25 連携学会シンポジウム6 〈日本プライマリ・ケア連合学会〉 ギリギリの就業判定 ～運転業務従事者を焦点に～	14:25～15:25 特別企画5 自然災害と産業保健法
15:00				
16:00				15:30～16:30 特別講話・対談 労働政策の来し方行く末 (産業保健の未来は)
	16:35～18:35 シンポジウム6 副業・兼業における健康管理と法	16:35～18:35 連携学会シンポジウム5 〈JAOHL弁護士会・大阪弁護士会〉 弁護士と産業保健職の連携のあり方 ～身体疾患・精神疾患事例を題材に～ ※オンデマンド配信無	16:35～18:35 連携学会シンポジウム3 〈日本職業・災害医学会〉 医師の働き方改革と法 ー研修医過労死事案をめぐって	16:40～18:35 一般演題1 一般演題 ①～⑥
17:00				
18:00				
19:00	19:00～ 懇親会(立食パーティ)			

■ 第2日目 9/22(日)

	第1会場 (4F・コンベンションホール) 現地・ライブ・オンデマンド	第2会場 (2F・小展示ホール) 現地・ライブ・オンデマンド	第3会場 (3F・特別会議室) 現地・ライブ・オンデマンド	第4会場 (1F・会議室A, B) 現地のみ ※配信はありません
9:00				
10:00	10:00~12:00 事例検討 安全配慮義務と個人情報 ー産業保健現場での介入困難な 架空事例を用いてー 協賛:一般財団法人 日本予防医学協会 ※オンデマンド配信無	10:00~12:00 連携学会シンポジウム2 〈日本産業ストレス学会〉 裁判所による産業ストレスの認定を 検証する(4) 国・豊田労基署長(トヨタ自動車)事件 (名古屋高判令3.9.16、名古屋地判令 2.7.29)	10:00~12:00 シンポジウム5 リモートワーク(テレワーク)の 産業保健法上の課題	10:00~13:00 特別企画1 あなたは本当の「高尾メソッド」を 知らない～行為規範としての 復職支援プログラムを考える～
12:00	12:10~14:10 メインシンポジウム 中小企業の産業保健と法 ～現状と展望・解決策の模索 ※日本医師会認定産業医研修会 (専門2単位)	12:10~14:10 シンポジウム2 働き方改革:産業医・産業保健機能の 強化の現状と課題	12:20~13:50 特別企画3 法と産業保健の架け橋: 産業保健法資格の新たな可能性	
13:00				13:20~14:02 一般演題2 一般演題 ⑦～⑧
14:00				
15:00	14:40~15:40 教育講演 最近の労働衛生行政の動向 ※日本医師会認定産業医研修会 (更新1単位)	14:20~16:20 シンポジウム4 安全配慮義務と職場の メンタルヘルスに関する現代的課題 協賛:社会保険労務士法人 あかつき ※オンデマンド配信無	14:20~16:20 シンポジウム8 治療と仕事の両立支援の課題と法	14:20~16:20 特別企画4 独立系産業保健職がおさえて おくべき法知識とは
16:00				
17:00	16:30~18:30 特別企画2 多職種が安全衛生(予防)業務で 豊かに暮らすには ※オンデマンド配信無	16:40~18:10 シンポジウム9 新しい化学物質管理と事業者責任	16:30~18:30 シンポジウム1 大都市と地方都市/大企業と 中小企業における労働環境の格差と 産業保健の課題 ※現地開催のみ(配信無)	
18:00				
18:40~	18:40~ 閉会挨拶			
19:00				

プログラム

1. 講演

大会長講演	中小企業の産業保健と法 ～多様化する健康課題と産業保健の課題をどう解決するかを産業保健法の現場から考える
日時・会場	9月21日(土) 9:55～10:55・第1会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	佐々木 規夫 (一般社団法人日本うつ病センター 上席研究員、精神科医)
演者	吉田 肇 (元京都大学法科大学院 客員教授、弁護士法人天満法律事務所 所長)

教育講演	最近の労働衛生行政の動向 *日本医師会認定産業医研修会(更新1単位)
日時・会場	9月22日(日) 14:40～15:40・第1会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	吉田 肇 (元京都大学法科大学院 客員教授、弁護士法人天満法律事務所 所長)
演者	佐々木 孝治 (厚生労働省 労働基準局安全衛生部 労働衛生課長)

2. シンポジウム

メインシンポジウム	中小企業の産業保健と法 ～現状と展望・解決策の模索 *日本医師会認定産業医研修会(専門2単位)
日時・会場	9月22日(日) 12:10～14:10・第1会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	吉田 肇 (元京都大学法科大学院 客員教授、弁護士法人天満法律事務所 所長)
座長・演者	中小企業の産業保健と法 ～現状と展望・解決策の模索 ～産業保健師の立場から～ 錦戸 典子 (東海大学医学部看護学科 客員教授)
演者	中小企業の産業保健と法 ～現状と展望・解決策の模索 大村 倫久 (厚生労働省 労働基準局安全衛生部 労働衛生課 産業保健支援室長)
	小規模事業場における産業保健の支援 神村 裕子 (独立行政法人労働者健康安全機構 山形産業保健総合支援センター 所長、株式会社わーく労働衛生コンサルタント 代表取締役)
	産業保健の職場内の「格差」への対応 ～トレードオフを乗り越えて～ 江口 尚 (産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室 教授)
	中小企業における安全衛生対策を考える ～法律学の立場から～ 三柴 丈典 (近畿大学法学部 教授)

シンポジウム 1	大都市と地方都市／大企業と中小企業における労働環境の格差と産業保健の課題
日時・会場	9月22日(日) 16:30～18:30・第3会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座長	井村 真己(追手門学院大学 法学部法律学科 教授) 五十嵐 侑(産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 講師)
演者	大都市と地方都市の産業保健格差 一弁護士としての視点から— 前園 健司(前園総合法律事務所 代表弁護士) 大都市と地方都市の産業保健格差 一社労士としての視点から— 富樫 敦子(富樫社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士) 大都市と地方都市の産業保健格差 一産業医としての視点から— 西田 典充(株式会社カプコン 専属産業医) 大都市と地方都市の産業保健格差 一保健師としての視点から— 廣川 舞(サントリーホールディングス株式会社 保健師)

シンポジウム 2	働き方改革:産業医・産業保健機能の強化の現状と課題
日時・会場	9月22日(日) 12:10～14:10・第2会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	増田 将史(産業医科大学 ストレス関連疾患予防センター 特命講師) 原 俊之(青森中央学院大学 経営法学部 教授)
演者	産業医・産業保健機能の強化の現状と課題 浜口 伝博(一般社団法人 産業医アドバンスト研修会 理事長 / 産業医科大学産業衛生教授) 産業医・産業保健機能の強化の現状と課題 一大企業・保健師の立場から— 岡田 睦美(富士通株式会社 健康推進本部 健康事業推進統括部 健康支援室 室長) 人事の現場からみた働き方改革 森 克義(社労士法人エスネットワークス 特定社会保険労務士)

シンポジウム 3	これからの労働時間法制のあり方と健康確保 ー労働のオンとオフの境界線
日時・会場	9月21日(土) 11:05～13:05・第2会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	吉川 徹(独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター 統括研究員) 笹井 健司(笹井社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士)
演者	働く人々におけるオフの量と質の確保:勤務間インターバルとつながらない権利 久保 智英(独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 上席研究員) 健康確保のための労働時間規制のあり方 水島 郁子(国立大学法人大阪大学 理事・副学長、教授) 通信機器による「つながり」と労働 安中 繁(ドリームサポート社会保険労務士法人 代表社員)

シンポジウム 4	安全配慮義務と職場のメンタルヘルスに関する現代的課題
協 賛	社会保険労務士法人 あかつき
日時・会場	9月22日(日) 14:20～16:20・第2会場
開催方式	現地・ライブ ※オンデマンド配信無し
座長・演者	安全配慮義務の領域拡大 林 和宏 (協和総合法律事務所 弁護士)
	指針で示される4つのメンタルヘルスケアとラインによるケアで求められること 鎌田 直樹 (北里大学 医学部 精神科学 精神科医)
演 者	安全配慮義務と労働者の自己保健義務の関係 奥山 泰行 (ナンバ合同法律事務所 弁護士)
	リモートワーク環境下におけるメンタルヘルスの課題と対応 ー産業医・保健師・職場上司・人事の連携による安全配慮義務の実践事例ー 大林 知華子 (ロート製薬株式会社 統括産業医・精神科医) 湊谷 志貴子 (ロート製薬株式会社 保健師)

シンポジウム 5	リモートワーク(テレワーク)の産業保健法上の課題
日時・会場	9月22日(日) 10:00～12:00・第3会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座 長	渡邊 徹 (弁護士法人淀屋橋・山上合同 パートナー弁護士)
	江口 尚 (産業医科大学 産業生態科学研究所 産業精神保健学研究室 教授)
演 者	リモートワーク下での社員の健康管理支援の取り組み 日比 友美子 (株式会社インテグリティ・ヘルスケア コーポレート部 コーポレートグループ長)
	リモートワークにおける産業医学的課題 佐藤 乃理子 (株式会社 檜原ライフスタイルラボ 代表取締役)
	リモートワークが浸透していない中小企業における健康管理上の現状と課題 ～産業保健職による多様な働き方への寄与の可能性を含めて～ 後藤 みずえ (保健師事務所アオラ 代表)
	労働契約における在宅勤務の法的整理と復職 増田 陳彦 (ひかり協同法律事務所 パートナー弁護士)

シンポジウム 6	副業・兼業における健康管理と法
日時・会場	9月21日(土) 16:35～18:35・第1会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座 長	秋山 陽子 (株式会社SUNNY 産業医事務所 代表取締役)
演 者	副業・兼業の促進に関する行政の取組 竹野 佑喜 (厚生労働省 雇用環境・均等局 有期・短時間労働課長)
	兼業・副業の現状と可能性 宇佐川 邦子 (株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター センター長)
	副業・兼業に係る健康管理の実態と対策 佐々木 毅 (独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 産業保健研究グループ部長)
	副業・兼業に係る法的課題 鎌田 耕一 (東洋大学 名誉教授)

シンポジウム7	疾病・障害の自己理解と配慮義務の職場認識とのギャップを考える
日時・会場	9月21日(土) 11:05～13:05・第3会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	小島 健一 (鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士) 島津 美由紀 (ソニーピープルソリューションズ株式会社 統括課長)
演者	<p>障害者(精神・発達)の戦力化 金塚 たかし (NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク 副理事 統括施設長)</p> <p>当事者(休職者や精神障害者)と企業双方に対する「通訳者」としての支援について 福島 南 (株式会社メンタルヘルス・リサーチ&コンサルティング・株式会社Decent work代表取締役、公認心理師、訪問型職場適応援助者(ジョブコーチ))</p> <p>合理的配慮の提供に関する当事者と事業主とのギャップをどう埋めるか 伊藤 克之 (日野アビリティ法律事務所 弁護士)</p> <p>職場のマネジメントにも有用な精神医学とは何か 岩谷 泰志 (医療法人社団和啓会 ペディ汐留こころとからだのクリニック 院長)</p>

シンポジウム8	治療と仕事の両立支援の課題と法
日時・会場	9月22日(日) 14:20～16:20・第3会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	菰口 高志 (弁護人大江橋法律事務所 パートナー弁護士)
座長・演者	<p>治療と仕事の両立支援の課題 事例1 一産業保健職の立場から一 矢内 美雪 (キャノン株式会社 安全衛生部 副部長)</p>
演者	<p>治療と仕事の両立支援の課題 事例2 一人事担当者の立場から一 竹内 正司 (株式会社オービック 人事総務本部 人事部 次長)</p> <p>治療と仕事の両立支援の課題と法 一医学の観点から一 古屋 佑子 (東海大学医学部 基盤診療学系 衛生学公衆衛生学 助教)</p> <p>治療と仕事の両立支援の課題と法 一法学の観点から一 石崎 由希子 (横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授)</p>

シンポジウム9	新しい化学物質管理と事業者責任
日時・会場	9月22日(日) 16:40～18:10・第2会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長・演者	石崎 由希子 (横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授)
演者	<p>労働安全衛生法における新たな化学物質規制 安井 省侍郎 (厚生労働省 労働基準局 安全衛生部安全課長(前化学物質対策課長))</p> <p>新しい化学物質管理と事業者の安全配慮義務 位田 浩 (位田浩法律事務所 弁護士)</p> <p>事業者が安全衛生災害を防ぎ、かつ、法的責任発生を避けるためのポイント 中原 浩彦 (NAOSHコンサルティング 代表)</p>

連携学会 シンポジウム1 (日本産業精神保健学会)	シャープNECディスプレイソリューションズ事件をめぐって
日時・会場	9月21日(土) 14:25~16:25・第1会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	黒木 宣夫 (医療法人社団宣而会 勝田台メディカルクリニック 院長、東邦大学 名誉教授) 吉田 肇 (元京都大学法科大学院 客員教授、弁護士法人天満法律事務所 所長)
演者	復職判定基準と本判決の射程を考えるー法学者の立場からー 佐々木 達也 (名古屋学院大学法学部 准教授)
	復職判定基準と本判決の射程を考えるー弁護士の立場からー 菰口 高志 (弁護士法人大江橋法律事務所 パートナー弁護士)
	3つの論点の提案ー産業医の立場からー 林 幹浩 (株式会社ビスメド 代表取締役)
	シャープNECディスプレイソリューションズ事件ー精神科医(主治医)の立場からー 佐々木 規夫 (一般社団法人日本うつ病センター 上席研究員、精神科医)

連携学会 シンポジウム2 (日本産業ストレス学会)	裁判所による産業ストレスの認定を検証する(4) 国・豊田労基署長(トヨタ自動車)事件(名古屋高判令3.9.16、名古屋地判令2.7.29)
日時・会場	9月22日(日) 10:00~12:00・第2会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	大塚 泰正 (筑波大学 人間系 教授)
座長・演者	国・豊田労基署長(トヨタ自動車)事件・名古屋高判令3.9.16の概要 佐々木 達也 (名古屋学院大学法学部 准教授)
演者	パワーハラスメントに関する労災認定基準の改正とその影響について 鈴木 悠太 (弁護士法人天満法律事務所 弁護士)
	パワハラ健康影響と発生防止のための対策 津野 香奈美 (神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科 教授)
	産業疲労研究者としての過密労働の定義と対策に関する一考察 久保 智英 (独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 上席研究員)

連携学会 シンポジウム3 (日本職業・災害医学会)	医師の働き方改革と法ー研修医過労死事案をめぐってー
日時・会場	9月21日(土) 16:35~18:35・第3会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	吉田 肇 (元京都大学法科大学院 客員教授、弁護士法人天満法律事務所 所長) 黒澤 一 (東北大学 環境・安全推進センター 教授、統括産業医)
演者	医師の精神障害による過労死等の実態と医師の働き方改革への期待 吉川 徹 (独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 過労死等防止調査研究センター 統括研究員)
	医師の働き方改革と法ー研修医過労死事案をめぐってー 江夏 大樹 (東京法律事務所 弁護士)
	新時代の医師の働き方へ:新たな法制度と医療現場での実践的アプローチ 藤川 葵 (聖路加国際病院 一般内科医員(元厚生労働省医政局医事課))

連携学会 シンポジウム4 (全国社会保険労務士会連合会)	ケースから学ぶ法的根拠に基づいたトラブル対応 －職場のハラスメントによるメンタルヘルス不調－
日時・会場	9月21日(土) 14:25～16:25・第2会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	森本 英樹 (森本産業医事務所 代表) 熊井 弘子 (熊井HRサポート社会保険労務士事務所 代表)
演者	小企業事業場における産業保健の在り方と社労士に求められる役割 秋山 陽子 (株式会社SUNNY産業医事務所 代表取締役) “ハラスメントで貴重な人材を失うことのないように”社労士ができること 森 克義 (社会保険労務士法人エスネットワークス 特定社会保険労務士) 心理的負荷による精神障害の労災認定について 井上 一弘 (井上一弘社労士事務所 代表) 弁護士の立場から 淀川 亮 (弁護士法人英知法律事務所 弁護士)
指定発言	石倉 正仁 (全国社会保険労務士会連合会 参与)

連携学会 シンポジウム5 (JAOHL弁護士会・大阪弁護士会)	弁護士と産業保健職の連携のあり方 ～身体疾患・精神疾患事例を題材に～
日時・会場	9月21日(土) 16:35～18:35・第2会場
開催方式	現地・ライブ ※オンデマンド配信無し
座長	淀川 亮 (弁護士法人英知法律事務所 弁護士)
演者	身体疾患を題材に 鎌田 直樹 (北里大学 医学部 精神科学 精神科医) 精神疾患を題材に 大林 知華子 (ロート製薬株式会社 統括産業医 精神科医) 使用者側弁護士の立場から 渡邊 徹 (弁護士法人淀屋橋・山上合同 弁護士) 労働者側弁護士の立場から 山中 有里 (大阪ふたば法律事務所 弁護士)

連携学会 シンポジウム6 (日本プライマリ・ケア連合学会)	ギリギリの就業判定 ～運転業務従事者を焦点に～
日時・会場	9月21日(土) 14:25～16:25・第3会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	運送業界と産業保健 ～法律家の観点から～ 渡邊 徹 (弁護士法人淀屋橋・山上合同) 安藤 明美 (日本プライマリ・ケア連合学会)
演者	職業ドライバーの運転行為についてのギリギリの就労判定 渋谷 純輝 (合同会社ワンピック) 富田 さつき (日本プライマリ・ケア連合学会) 竹村 和也 (東京南部法律事務所)

3. 特別企画

特別企画 1	あなたは本当の「高尾メソッド」を知らない ～行為規範としての復職支援プログラムを考える～
日時・会場	9月22日(日) 10:00～13:00・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座長	小島 健一(鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士) 秋山 陽子(株式会社SUNNY産業医事務所 代表取締役、労働衛生コンサルタント、社会保険労務士)
演者	いわゆる「高尾メソッド」に関する些細な疑問点について 神田橋 宏治(合同会社DB-SeeD)
	予防法務とは何かを問う 前園 健司(前園総合法律事務所 代表弁護士)
	高尾メソッドの実践場面で行われていること 森 悠太(株式会社 Office d'Azur 代表取締役、麻の葉経営コンサルタント 社会保険労務士・中小企業診断士)
	精神科医の視座から 平島 奈津子(オフィス朔 代表)
	労務担当者の立場から 吉野 美保(株式会社リクルートスタッフィング 法務・コンプライアンス部/人事部)

特別企画 2	多職種が安全衛生(予防)業務で豊かに暮らすには
日時・会場	9月22日(日) 16:30～18:30・第1会場
開催方式	現地・ライブ ※オンデマンド配信無し
座長	立道 昌幸(東海大学 医学部 基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授) 三柴 丈典(近畿大学法学部 教授)
演者	多職種が安全衛生(予防)業務で豊かに暮らすには 高橋 明彦(合同会社セーフティライフTAMA 代表)
	労働安全・衛生コンサルタントとして業務する者の立場から 錦見 端(錦見環境安全衛生コンサルタント事務所 代表)
	多職種が安全衛生(予防)業務で豊かに暮らすには 後藤 健二(正田社会保険労務事務所 特定社会保険労務士)
	開業保健師の豊かな働き方 松尾 玲奈(Wholwell合同会社 代表)
	心理職が安全衛生(予防)業務で豊かに暮らすには 三瓶 真理子(EASE Mental Management 代表 公認心理師・臨床心理士)

特別企画3 (学会研修委員会)	法と産業保健の架け橋:産業保健法資格の新たな可能性
日時・会場	9月22日(日) 12:20~13:50・第3会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座長	大林 知華子 (ロート製薬株式会社 統括産業医) 笹井 健司 (笹井社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士)
演者	産業保健職、人事労務職、法律家が産業保健法を学ぶ必要性 ~裁判例を通じて 井上 洋一 (愛三西尾法律事務所 代表弁護士)
	産業保健専門職がリーガルマインドを学ぶ必要性 -産業医の立場から- 渋谷 純輝 (合同会社ワンピック)
	産業保健法の学びの有用性や効果 -社会保険労務士の立場から- 熊井 弘子 (熊井HRサポート社会保険労務士事務所 代表、特定社会保険労務士、産業保健法務主任者)
	産業保健法学習の効果測定調査結果にみる研修の効用 西本 実苗 (神戸女子大学 心理学部心理学科 講師)
指定発言	後藤 みずえ (保健師事務所アオラ 代表)

特別企画4 (産業保健職に関する検討会)	独立系産業保健職がおさえておくべき法知識とは
日時・会場	9月22日(日) 14:20~16:20・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座長	林 幹浩 (株式会社ビスメド 代表取締役)
演者	独立系産業保健職がおさえておくべき法知識とは 齋藤 明子 (株式会社ヘルス&ライフサポート 代表取締役 保健師)
	独立系看護保健看護職に求められる役割と能力 中谷 淳子 (産業医科大学 産業保健学部 産業・地域看護学 教授)
	産業保健職が備えるべき法的資質と研修制度のあり方について ~当法学会の研修委員会委員長として 井上 洋一 (愛三西尾法律事務所 代表弁護士)
	独立系産業保健職における実務上の課題と有用な法知識 ~弁護士の立場から~ 西脇 巧 (ニシワキ法律事務所 弁護士)

特別企画5	自然災害と産業保健法
日時・会場	9月21日(土) 14:25~15:25・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座長	鎌田 耕一 (東洋大学 名誉教授)
演者	災害発生時の労働者の健康確保と法 ~産業保健実務家の立場から~ 五十嵐 侑 (産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 講師)
	自然災害下における労働者の安全・健康と産業保健法 河合 壘 (岐阜大学 地域科学部 教授)

4. 模擬裁判

模擬裁判	発達障害疑いある者の適応障害による休職命令・復職要求
日時・会場	9月21日(土) 11:05~13:05・第1会場
開催方式	現地・ライブ ※オンデマンド配信無し
座長	倉重 公太郎 (KKM法律事務所 弁護士) 水谷 明男 (Office Le Chien 合同会社 代表社員)
演者	川村 孝 (京都大学 名誉教授) 江夏 大樹 (東京法律事務所/第一東京弁護士会 弁護士、第一東京弁護士会労使部会副会長) 宋 裕姫 (オフィス宋 代表) 町田 悠生子 (五三・町田法律事務所 弁護士) 岡本 昭夫 (一般財団法人京都工場保健会 産業保健推進部 医療次長)

5. 事例検討

事例検討	安全配慮義務と個人情報 —産業保健現場での介入困難な架空事例を用いて—
協賛	一般財団法人 日本予防医学協会
日時・会場	9月22日(日) 10:00~12:00・第1会場
開催方式	現地・ライブ ※オンデマンド配信無し
座長	井上 洋一 (愛三西尾尾法律事務所 代表弁護士、中小企業診断士)
座長・演者	鎌田 直樹 (北里大学医学部精神科学 精神科医)
演者	澤山 恵波 (北里大学医学部精神科学 講師、精神科医、産業医) 丸山 慧師 (MM経営法律事務所 弁護士、中小企業診断士) 境 浩史 (株式会社島津製作所 人事部 兼 人事グループ シニアエキスパート)

6. 昼セミナー

昼セミナー	パーソナルヒストリー「昔は今に生きる」
日時・会場	9月21日(土) 11:05~12:05・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座長	井原 裕 (獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科 主任教授)
演者	神田橋 條治 (医療法人有隣会 伊敷病院 精神科非常勤医師)

7. 特別講話・対談

特別講話・対談	労働政策の来し方行く末(産業保健の未来は)
日時・会場	9月21日(土) 15:30~16:30・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
演者	松原 哲也 (リクルートワークス研究所 客員研究員) 今野 浩一郎 (学習院大学 名誉教授)

8. 協賛セミナー

協賛セミナー 1	高確法と安衛法の狭間で
協 賛	バイオコミュニケーションズ株式会社
日時・会場	9月21日(土) 13:15~14:15・第1会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
演 者	安藤 肇 (産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 学内講師)

協賛セミナー 2	医師兼弁護士の立場から考える産業医の悩ましい場面での対処法
協 賛	株式会社エムステージ
日時・会場	9月21日(土) 13:15~14:15・第2会場
開催方式	現地・ライブ・オンデマンド
座 長	和田 耕治 (国立研究開発法人 国立国際医療研究センター)
演 者	竹口 英伸 (竹口産業医事務所 産業医・弁護士)

9. 一般演題

一般演題 1	
日時・会場	9月21日(土) 16:40~18:35・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座 長	佐々木 規夫 (一般社団法人日本うつ病センター 上席研究員、精神科医)
一般演題 ① (16:40~)	産業保健法学と地域精神保健 高嶋 里枝 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部 科研費研究員)
一般演題 ② (16:57~)	芸能従事者の安全衛生に関する法整備の必要性について 森崎 めぐみ (一般社団法人日本芸能従事者協会 代表理事、俳優) 藤井 靖 (明星大学心理学部 教授、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 客員研究員) 佐々木 達也 (名古屋学院大学法学部 准教授)
一般演題 ③ (17:19~)	危険急迫時における労働者の退避権 笹井 健司 (笹井社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士)
一般演題 ④ (17:41~)	インタビュー調査から考える相談しやすいパワハラ社内相談窓口の要件 舘野 聡子 (株式会社インシア)
一般演題 ⑤ (17:58~)	AI共生社会における情報過多対策と産業保健スタッフの役割の提案 川瀬 崇裕 (日本特殊陶業株式会社 産業医)
一般演題 ⑥ (18:15~)	発達障害者の多様性に対応した合理的配慮の模索 ~発達障害特性見える化シートの開発と運用~ 須藤 千尋 (ANA成田エアポートサービス株式会社) 松澤 大輔 (株式会社ライデック/新津田沼メンタルクリニック)

一般演題 2	
日時・会場	9月22日(日) 13:20~14:02・第4会場
開催方式	現地開催のみ(配信無し)
座 長	佐々木 規夫 (一般社団法人日本うつ病センター 上席研究員、精神科医)
一般演題 ⑦ (13:20~)	がん患者当事者視点からの治療と就業に関する課題整理と両立支援整備への展望 後藤 真一 (国際医療福祉大学 研究管理室 マネージャー)
一般演題 ⑧ (13:42~)	時間外労働等により生じた事後的深夜業(隠れ深夜業)に対する健康管理の課題と提案 志田 三四郎 (志田労働衛生コンサルタント事務所 産業医)